

平成29年9月15日

高校バスケットボール部指導者 各位

鹿児島県バスケットボール協会
審判委員会

JBAプレイコール・ガイドラインの共通理解について（お願い）

新秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本県審判委員会の活動に際し、ご理解とご尽力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会 鹿児島県予選の開催に向けて、『**2017-2018 JBAプレイコーリング・ガイドライン**』の共通理解を図りたいと考えております。ガイドラインについては、JBAからの通達もあり、現在、九州大会や全国大会におきまして、代表者会議並びに審判会議の中でガイドラインを共通理解した上で、大会運営を行っています。本県といたしましても、この流れをいち早く浸透させ、選手もコーチもガイドラインを理解した上でプレーをすること、審判も“一回戦から”“誰が吹いても”同じ判定基準で一つの大会が運営されること、を目指していきたいと考えているところです。そこで、ガイドラインの共通理解と周知を図りたいと考えています。

つきましては、プレイコーリング・ガイドラインの資料を県協会HPに掲載いたしますので各学校で印刷していただき、今後の練習に生かされてください。

HP掲載項目

「2017-18 JBAプレイコーリング・ガイドライン」

- 例えば、「ボールを持っているプレイヤーに、両手を使うことはハンドチェックのファウルの適用になる」などの判定基準を具体的に示してあります。
ウインターカップ県予選を使用して指名強化審判研修会を実施します。
- 研修会最終日10月16日（月）にガイドラインの説明を映像を交えて行います。
特に申し込みは必要ありませんので、ご参加下さい。
講義：16日 8：30～ 県体育館 研修棟1階
- ご不明な点は原田までお願いします。

連絡先：原田 拓朗

メール：takuroureferee@gmail.com

携 帯：09073972935